



サンゴ保護について

パラオの海は魚が豊富！
多くのサンゴが魚たちの生活を支えています。
サンゴを守るため、皆さん一人ひとりに協力して欲しいこと。

1. ダイビング中は常に中性浮力を心がけ、サンゴに極力接触しないようにしよう。スノーケリングの場合はサンゴを蹴らない、サンゴのうえに立ち上がらないように注意しよう。
2. 器材でサンゴを傷つけないようブラブラ対策をしよう。
3. カメラ、ビデオ撮影の際もサンゴに優しい配慮をしよう！サンゴの上に乗る、体を固定するためにつかまる、膝の間にサンゴを挟むような行為は避けよう。
4. 流れのあるところではカレントフックを上手く利用しよう。カレントフックを上手く使うことでサンゴへの接触を最小限に抑えることが出来るかも。
5. 魚に対する餌付けや海に何かを捨てることはやめよう。海水が富栄養になることでサンゴはダメージを受けます。またサンゴの表面にゴミや砂などが堆積することでもダメージを受けます。サンゴには表面の堆積物を自分の力で排除する力もありますが、その力は弱く時間もかかります。

多くのサンゴと魚たちに出会えるパラオ。
このすばらしい環境を守るため、パラオダイビング協議会では独自に環境・自然保護の取り組みを進めています。人が海に入ることによって少なからずその環境は変化します。その変化をいかに小さく抑えていくか、これが私達に課せられた大きなテーマ。私達にできることから始めていますので、大きな影響力は無いかもしれませんが、私達が何を考え、どのような活動を行っているのか？パラオを訪れる皆さんに少しでも知っていただくことで、より大きな環境・自然保護の力につながると思います。

ASOBI : Assistance for Saving Our Beautiful Island この活動が広くパラオへ浸透するよう、私達は今後も努力してゆきます。